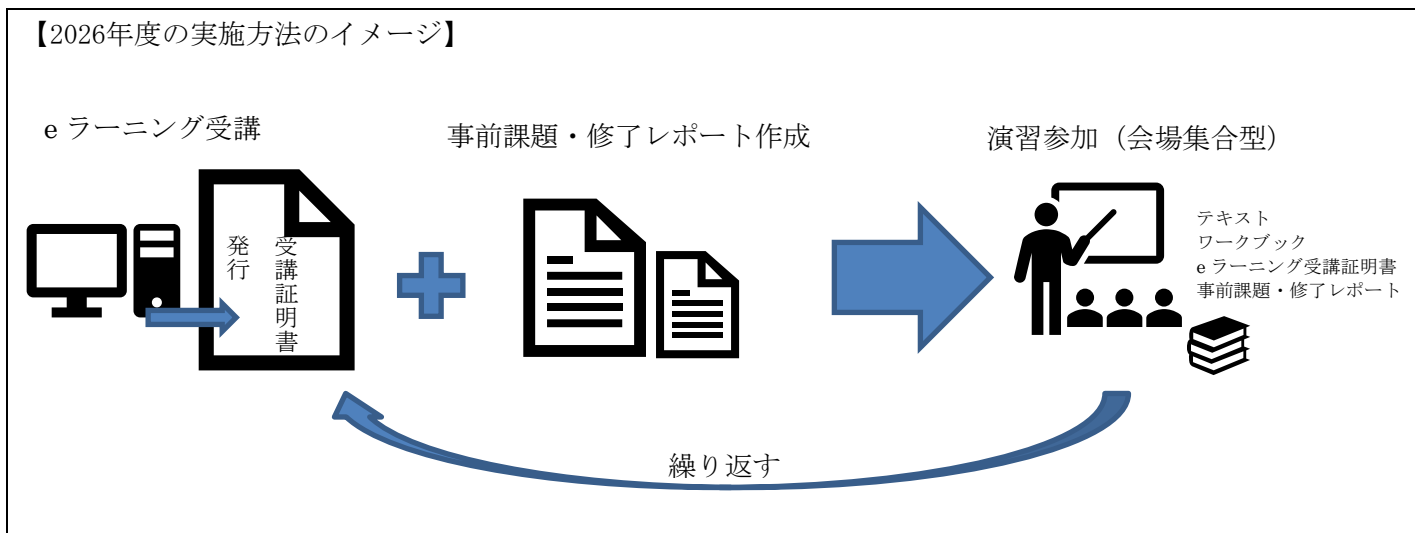


2026年度基礎研修Ⅲのご案内

2026年度の基礎研修Ⅲは、生涯研修制度における共通専門科目のうち11科目をeラーニング講座（オンデマンド配信）を活用して受講します。グループ討議や演習（報告会・プレゼンテーション等）は会場に集合しての実施となります。ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ、実践評価・実践研究科目Ⅰ、権利擁護法学系科目Ⅰ、地域開発・政策系科目Ⅰ、サービス管理・経営系科目、人材育成系科目については、科目修了レポートが課せられます。基礎研修Ⅲワークブックには、事前課題、事前学習資料、演習資料等を掲載しています。

各自、研修プログラムを確認しながら、eラーニング講座を受講し、受講証明書を発行し演習を受講する際に持参、提出してください。また、指定された日までに事前課題を提出し、研修を受講してください。受講証明書や課題を提出していない場合は、演習や次のプログラムに進むことができません。提出書類は必ず控えを取っておいてください。

なお、感染症の流行状況に応じて、研修形態を切り替える場合もありますので、あらかじめご了承ください。



【基礎研修Ⅲプログラム】

※開始15分はオリエンテーション、講義終了後は事務連絡の時間です。

※日本社会福祉士会ホームページ⇒eラーニング講座⇒講座一覧⇒基礎研修Ⅲ関連講義⇒指定科目受講

※eラーニング科目を視聴後、修了テストを合格すると受講証明書が発行されます。受講証明書を各自印刷して科目受講当日に提出してください。

6月13日（土）ふれあいランド岩手 研修室

◎受付開始 8:30~8:45 ◎開講 9:00~17:50

eラーニング講座の番号です。日本社会福祉士会のHPで確認ください

時間	テーマ	演習当日の提出書類
9:00~9:05	開講式	
9:05~13:35	模擬事例検討会	「実践評価・実践研究系科目Ⅰ」②③④⑤+⑥修了テストの計5枚の受講証明書 (事例研究のための事例のまとめ方 中間課題は6.13持参)

基礎研修Ⅲのご案内

	模擬事例検討会	(修了レポートは7.11持参)
13:35～14:20	昼休憩	(事前課題は6.13持参)
14:20～17:50	実践事例演習Ⅱ	(修了レポートは7.11持参)

7月11日(土) キオクシアアイーナ5階会議室501 ◎受付開始 9:00～9:15 ◎開講 9:15～17:00

時間	テーマ	演習当日の提出書類
9:30～10:45	社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営	「サービス管理・経営系科目Ⅰ」②③計2枚の受講証明書
10:55～12:15	福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント	
12:15～13:00	昼休憩	「権利擁護法学系科目Ⅰ」① +②修了テスト計2枚の受講証明書 (事前課題は7.11持参) (修了レポートは8.11持参)
13:00～16:45	意思決定の支援	

8月11日(火) ふれあいランド岩手 研修室 受付開始 9:00～9:15 ◎開講 9:15～16:30

時間	テーマ	演習当日の提出書類
9:30～12:00	地域における福祉活動(前半)	「地域開発・政策系科目1」② +③修了テストの計2枚の受講証明書 (事前課題は8.11持参)
12:00～13:00	昼休憩	
13:00～15:00	地域における福祉活動(後半)	「サービス管理・経営系科目Ⅰ」④+⑤修了テスト計2枚の受講証明書
15:00～16:30	リスクマネジメントと苦情解決システム	

9月12日(土) ふれあいランド岩手 研修室 ◎受付開始 9:00～9:15 ◎開講 9:15～16:30

時間	テーマ	演習当日の提出書類
9:30～12:30	地域の課題解決に向けた具体策について(前半)	(地域における福祉活動 中間課題は9.12持参) (修了レポートは10.17持参)
12:30～13:30	昼休憩	
13:30～16:30	地域の課題解決に向けた具体策について(後半)	

↓当初10月10日(土)でご案内でしたが、会場の都合で変更となりました。

10月17日(土) キオクシアアイーナ5階会議室501 ◎受付開始 9:30～9:45 ◎開講9:45～16:00

時間	テーマ	演習当日の提出書類
10:00～12:30	事例研究(苦情・リスク・サービス評価)(前半)	(事前課題は10.17持参) (修了レポートは11.7持参)
12:30～13:30	昼休憩	
13:30～16:00	事例研究(苦情・リスク・サービス評価)(後半)	

11月7日（土）ふれあいランド岩手 研修室 ◎受付開始 8：45～9：00 ◎開講 9：00～16：20

時間	テーマ	課題・受講証明書有無
9：00～13：00	新人教育プログラム	「人材育成系科目」②+③修了 テストの計2枚の受講証明書 (事前課題は11.7持参) (修了レポートは11.27必着 事務局へ送付)
13：00～14：00	昼休憩	「人材育成系科目」①計1枚の 受講証明書 (事前課題は11.7持参)
14：00～16：00	スーパーバイジー体験	
16：00～16：20	修了式	

■『基礎研修テキスト』について

- ・ 基礎研修の講義のうち、認定社会福祉士認証・認定機構で認証された科目（権利擁護・法学系科目Ⅰ、地域開発・政策系科目Ⅰ、サービス管理・経営系科目Ⅰ、実践評価・実践研究系科目Ⅰ、人材育成系科目Ⅰ、ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ）の各講義では、ワークブックと『基礎研修テキスト』を使用します。
- ・ 『基礎研修テキスト』の販売、取り扱いについては、日本社会福祉士会のホームページ等をご確認ください。

■科目修了レポートについて

- ・ 科目修了レポートは、各科目の到達目標（下記参照）の70%に到達しているかについて判定します。到達目標の70%に達していないと判断された場合には、再提出あるいは目標未達成による不合格となる場合があります。
- ・ 科目修了レポートは、必ず各科目の定められた提出期限までに、提出してください。

各科目の到達目標

科目名	到達目標
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	3つの対象レベル（個人・地域・組織）において、ソーシャルワークの実践理論に基づき、対象の統合的な理解・把握、アセスメントができる。 ソーシャルワークの理論・モデルと結び付けて、自身の実践の計画・振り返り・改善を行う。
権利擁護・法学系科目Ⅰ	社会福祉サービス・社会保障制度の利用にかかる法的な構造について説明できる。 典型的な法的権利侵害場面に対して、利用者の法的権利の侵害を防止・回復する方法について説明できる。
人材育成系科目Ⅰ	所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明できる。組織における後進育成の役割、職能としての後進育成の意味を理解し、自組織のソーシャルワーク業務・役割を理解させるための新人研修・実習プログラムを作成できる。

サービス管理・経営系科目Ⅰ	組織の枠組みを踏まえサービス管理・改善等を行う場合の働きかけ先・方法・タイミング等を理解している。 他職場のサービス管理の方法を知ることによって所属組織のサービス管理方法を相対化し、改善課題を把握できる。
地域開発・政策系科目Ⅰ	所属組織が所在する地域の福祉システムを把握している。地域の生活課題、福祉ニーズを踏まえて、地域における自組織の役割について説明できる。 地域の課題やニーズ、社会資源についてアセスメントできる。アセスメントに基づいて、地域介入の目標と方法を選ぶことができる。
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	自身の実践の経過、判断・行動の根拠、成果と課題について記述し、説明できる。自身の実践について適切な研究方法を用いて評価ができる。評価から得た知見を発表できる。

認定社会福祉士認証・認定機構「認定社会福祉士制度 研修認証基準細則 別表2」より抜粋

■提出課題について

【課題の提出方法（期限厳守）】

各集合研修時又は岩手県社会福祉士会事務局に郵送で提出いただきます。

※課題の種類は、事前課題、中間課題、修了レポートです。

※郵送の際には、封筒左下に朱書きにて基礎研修Ⅲ課題在中とご記入願います。

提出に当たっては、必ず各課題に表紙を添付してご提出をお願いします（別紙1参照）。

記載方法は別紙の記入例をご参照ください（別紙3参照）。なお、課題の書式を6月以降に岩手県社会福祉士のホームページに掲載しますのでそちらもご参照ください。

提出された課題は、演習で使用する場合があります。課題は添削者が添削後、後日返却します。

<input checked="" type="checkbox"/>	テーマ	課題提出締切日
<input type="checkbox"/>	事例研究のための事例のまとめ方（中間課題） ワークブックの様式「事例研究のための事例のまとめ方（フェースシート・支援の体制・事例の経過記録）」に沿って事例をまとめる <u>※演習で資料を使用しますので、7部（提出用1部、演習用6部）持参して下さい</u>	6月13日（土） ※集合研修時
<input type="checkbox"/>	実践事例演習Ⅱ（事前課題） 「社会福祉援助の展開過程」をふまえた上で、自ら現在実践している事例を <u>書式に沿って</u> まとめる【A4：1～2枚】 <u>※演習で資料を使用しますので、7部（提出用1部、演習用6部）持参して下さい</u>	6月13日（土） ※集合研修時
<input type="checkbox"/>	模擬事例検討会（修了レポート） 中間課題でまとめた「事例研究のための事例のまとめ方（フェースシート・支援の体制・事例の経過記録）」を、集合研修で相互評価してもらったうえで推敲する。	7月11日（土） ※集合研修時

基礎研修Ⅲのご案内

□	<p>実践事例演習Ⅱ（修了レポート）</p> <p>ワークブックの様式に沿って①～③についてまとめる</p> <p>① 実践事例演習で、他のメンバーから確認されたことを整理する。</p> <p>② 新たに確認できた、自らの実践における課題を上げる。</p> <p>③ 自らの実践を改めて振り返り、ソーシャルワークの理論と実践を結びつけることの重要性について、学んだことを記載する。</p>	<p>7月11日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>意思決定の支援（事前課題）</p> <p>「意思決定の支援の必要性」についてホームレスを例に挙げ、判断能力、アセスメント、エンパワメントの言葉を用いてまとめる【1,000～1,400字】</p>	<p>7月11日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>意思決定の支援（修了レポート）</p> <p>「意思決定の必要な対象者」を想定し「意思決定支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、想定される支援プロセスをまとめる【1,800～2,200字】</p>	<p>8月11日（火）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>地域における福祉活動の実際（事前課題）</p> <p>所属組織が所在する自治体で策定している地域福祉計画をもとにワークブック記載の（ア）～（ウ）の各項目を含めまとめる【1,200～1,500字】</p>	<p>8月11日（火）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>地域における福祉活動の実際（中間課題）</p> <p>① ヒアリングシート記入</p> <p>② 企画シート作成</p> <p><u>※演習で資料を使用しますので、7部（提出用1部、演習用6部）持参して下さい</u></p>	<p>9月12日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>地域の課題の解決に向けた具体策について（修了レポート）</p> <p>① 企画シートの修正『完全版』作成</p> <p>② 企画を具体化するための今後の方向性【400～600字】</p> <p>③ 所属組織に求められている課題や今後の方向性【1,200～1,500字】</p>	<p>10月17日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>事例研究(苦情、リスク、サービス評価)（事前課題）</p> <p>ワークブックの様式（1～4）に沿って課題シートをまとめる</p> <p><u>※演習で資料を使用しますので、7部（提出用1部、演習用6部）持参して下さい</u></p>	<p>10月17日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>事例研究(苦情、リスク、サービス評価)（修了レポート）</p> <p>① 科目修了レポート①を記入</p> <p>② 所属組織でサービス管理・サービス改善等行う場合の課題について【800～1,200字】</p>	<p>11月7日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>スーパービジョンのモデルセッション(事前課題)</p> <p>スーパーバイザーの自己チェックシートを記入</p>	<p>11月7日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>新人教育プログラム(事前課題)</p> <p>① 自己チェックシートを記入</p> <p>② 研修プログラムを記入し、他の人に説明することを想定して整理</p> <p><u>※演習で資料を使用しますので、7部（提出用1部、演習用6部）持参して下さい</u></p>	<p>11月7日（土）</p> <p>※集合研修時</p>
□	<p>新人教育プログラム(修了レポート)</p> <p>【各テーマ300字以上記入】</p>	<p>11月27日（金）</p> <p>必着</p> <p>※事務局へ郵送</p>

基礎研修Ⅲのご案内

(別紙1)

岩手県社会福祉士会生涯研修プログラム

課題等表紙

提出日 2026 年 月 日

受講番号		氏名	
------	--	----	--

科目名	<input type="checkbox"/> ソーシャルワーク理論系科目 <input type="checkbox"/> 権利擁護・法学系科目 <input type="checkbox"/> 人材育成系科目 <input type="checkbox"/> サービス管理・経営系科目 <input type="checkbox"/> 地域開発・政策系科目 <input type="checkbox"/> 実践評価・実践研究系科目
課題	<input type="checkbox"/> 事前課題 <input type="checkbox"/> 中間課題 <input type="checkbox"/> 修了レポート (初 ・ 再提出)
課題名	
課題内容	

※添削者記入欄

受付年月日	年 月 日	受付印	
成績結果 (修了レポートのみ)	合 格 ・ 不 合 格	添削者印	
添削者より講評			

基礎研修Ⅲ課題・レポート添付表紙の書き方例

中間課題 6月13日(土)提出

科目名	「事例研究のための事例のまとめ方」
設題課題	中間課題
課題内容	(例) 基礎研修テキスト下巻「事例研究のための事例のまとめ方」を参考に、ワークブックの様式「事例研究のための事例のまとめ方(フェースシート・支援の体制・事例の経過記録)」に沿って事例をまとめる。

※事務局提出分、演習用に7部ご準備願います。

事前課題 6月13日(土)提出

科目名	「実践事例演習Ⅱ」
設題課題	事前課題
課題内容	(例) 基礎研修Ⅱ「実践事例演習」を振り返り「社会福祉援助の展開過程」をふまえた上で、自らが現在実践している事例のうち1つを、ワークブックの様式に沿ってまとめる。

※事務局提出分、演習用に7部ご準備願います。

修了レポート 7月11日(土)提出

科目名	「模擬事例検討会」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) 中間課題でまとめた「事例研究のための事例のまとめ方(フェースシート・支援の体制・事例の経過記録)」を、集合研修で相互評価してもらったうえで推敲する。

修了レポート 7月11日(土)提出

科目名	「実践事例演習Ⅱ」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) ワークブックの様式に沿って①～③についてまとめる ① 実践事例演習で、他のメンバーから確認されたことを整理する。 ② 新たに確認できた、自らの実践における課題をまとめる。 ③ ソーシャルワークの理論と実践を結びつけることの重要性について、 学んだことをまとめる。

事前課題 7月11日（土）提出

科目名	「意思決定の支援」
設題課題	事前課題
課題内容	(例) 「意思決定の支援の必要性」について自分の考えを、ホームレスを例に挙げ、 判断能力、アセスメント、エンパワメントの言葉を用いて1,000～1,400字 でまとめる。

修了レポート 8月11日（火）提出

科目名	「意思決定の支援」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) 「意思決定の必要な対象者」を想定し「意思決定支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、想定される支援プロセスを 1,800～2,200字 でまとめる。

事前課題 8月11日（火）提出

科目名	「地域における福祉活動の実際」
設題課題	事前課題
課題内容	(例) 所属組織が所在する自治体で策定している地域福祉計画をもとに (ア)計画等のどの部分が、利用者の生活にどのように関係しているか (イ)実際の支援で、利用者に対してどのように活用できるか (ウ)利用者支援と地域福祉計画等を結び付けた場合の課題 の各項目を含め、1,200～1,500字 でまとめる。

中間課題 9月12日（土）提出

科目名	「地域における福祉活動の実際」
設題課題	中間課題
課題内容	(例) ① 自身が現在、支援している利用者、または、過去に支援していた利用者を想定し、ヒアリングシートを記入する。 ② ヒアリングシートをもとに、企画シートを作成する。

※事務局提出分、演習用に7部ご準備願います。

修了レポート 10月17日（土）提出

科目名	「地域の課題の解決に向けた具体策について」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) ① 企画シートの修正を行い『完全版』作成する。 ② 企画を具体化するための今後の方向性をまとめる 【400～600字】

基礎研修Ⅲのご案内

	③ 企画の具体化や、地域課題を解決するにあたり、自身の所属する組織に求められている課題や今後の方向性をまとめる【1,200～1,500字】
--	---

事前課題 10月17日(土)提出

科目名	「事例研究(苦情、リスク、サービス評価)」
設題課題	事前課題
内容	(例) ① サービス管理・経営系科目に用いられる用語と実践の振り返りをまとめる。 ② 所属組織における苦情、事故(インシデント)発生時の対応方法(マニュアル)についてまとめる。 ③ 所属組織の苦情対応委員会、第三者委員の関りについてまとめる。 ④ 委員会等で決定した事項の周知方法(再発防止)と、苦情・事故をサービス改善につなげる方法について、所属組織の工夫している点をまとめる。

※事務局提出分、演習用に7部ご準備願います。

修了レポート 11月7日(土)提出

科目名	「事例研究(苦情、リスク、サービス評価)」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) ① 科目修了レポート①苦情が発生した後の対応について表に記入する。 ② 所属組織でサービス管理・サービス改善等行う場合の課題について、800～1,200字でまとめる。

事前課題 11月7日(土)提出

科目名	「スーパービジョンのモデルセッション」
設題課題	事前課題
内容	(例) 自身の状況について「スーパーバイザーの自己チェックシート」を使用し、記入する。

事前課題 11月7日(土)提出

科目名	「新人教育プログラム」
設題課題	事前課題
内容	(例) ① 自身の日ごろの取り組みについて「自己チェックシート」を使用し、記入する。 また「組織の中において」「援助者として」それぞれについて課題だと思っ るところを具体的に記入し、全体を記入しての気づきをまとめる。 ② 職場の研修プログラムを、別紙「研修プログラム」を記入し、ほかの人に説明する ことを想定して整理する。

※事務局提出分、演習用に7部ご準備願います。

修了レポート 11月27日（金）事務局郵送提出(必着)

科目名	「新人教育プログラム」
設題課題	修了レポート
課題内容	(例) ①～④について、各300字以上でまとめる。 ① なぜ後進育成が必要かについて、学んだことをまとめる。 ② 所属組織における自身の業務について説明する。 ③ 作成した新人教育プログラムをどのように見直したのか説明する。 ④ プログラム運営にあたっての配慮についてまとめる。